

サイエンス・リサーチ・カンファレンス（SRC）2021 応募規定と注意事項

1 参加条件について

- (1) 要項の対象者であれば団体、個人にかかわらず参加が可能であるが、サイエンス・リサーチ・カンファレンス 2021（以下、本大会と記載）の趣旨を十分に理解すること。
- (2) 発表者、参加者は自宅から参加することとするが、自宅に Wi-Fi 環境がない場合は、研究会事務局に連絡する。
- (3) 担当教員の参加は必ずしも必要ではないが、参加を制限するものではない。また、当該校で判断した場合、学校を会場として生徒が参加することも可能であるが、この場合は教員にも参加していただきたい。また、必要な機材はすべて当該校が用意するものとする。
- (4) ソーシャル・ディスタンスを確保し、コロナウイルス、インフルエンザウイルス等の感染予防をすること。

2 募集演題数

本大会では、口頭発表の演題を 10 題募集する。

- ・口頭発表（10 題まで）

参加校 1 校からの応募数の上限は口頭発表 2 題までとし、事前審査の後に本審査進出演題（10 演題）を決定する。審査は、提出された要旨を審査基準のもとに、点数化して決定する。なお、審査基準は次のとおりとする。

(1) 審査基準

- ① テーマの目標設定は適切か
- ② 目的を達成するための方法は適切か
- ③ 結果はわかりやすくまとめられているか
- ④ 論理的な考察がなされているか
- ⑤ 全体的に見やすくまとめられているか

3 発表方法について

- (1) 発表は、Zoom を使ってオンラインでライブ配信する。座長からの指示にしたがって、規定時間内（準備時間 1 分、発表時間 7 分、質疑応答時間 7 分）で終わらせる。使用するパワーポイントの資料については、発表 3 日前までに研究会に提出する。提出されたパワーポイントの資料は、カルテ作成の際の参考に使用する。
- (2) 発表は、1 人でも複数人でも可能である。

(ア) 1 人の場合

Zoom にスライドを映して発表を行う。操作が難しい場合は、提出されたパワーポイントの資料を発表者の指示に合わせて本部から配信する。「次のスライドお願いします」で、本部担当者がスライドを進める。

(イ) 複数人の場合

Zoom にスライドを映して発表を行い、パート発表者以外は音声を ON にして音を立てないように待機しておく。パート発表者は自分のパートが終わったところで「発表者交代します」と宣言して、その言葉に続けて次の人が発表を継続する。担当発表パートが終了しても質疑応答まですべて終了

するまではミュートにせず、音を立てないようにして待機する。

- (3) 質疑応答は Zoom のチャット機能を利用する。発表について質問のある生徒は、チャット機能で質問を送る。座長がその質問内容をピックアップして質問し、発表者は質問に対して音声で回答する。質疑応答の時間を待たずに発表中から質問入力を受け付ける。なお、グループ研究で代表者 1 名がプレゼンを行った場合でも、グループ内の他のメンバーが回答しても構わないが、指導教員は回答できない。学校等に集まって発表を行う場合でも、指導教員は発表開始時から発表者に対してのアドバイス等の働きかけは行ってはならない。

4 カルテの発行

本大会で発表されたすべての発表に対し、研究会は評価できる点と改善を要する点を記載したカルテを作成してそれぞれのグループに送付する。また、応募したが発表できなかったグループには、要旨の書き方についてのカルテを作成し、研究をより魅力的に見せる要旨の書き方について指導する。

5 参加申し込みについて

(1) 参加者全員

全ての参加希望者は、SRC の web サイトから参加登録を行うこと。聴講のみの場合もこれに含まれる。特に、e-メールのアドレスは Zoom の ID とパスワードを送るために必要なため、必ず本人に連絡がつくものを使用すること。

(2) 発表を希望するグループ

SRC の web サイトから

- (a) 発表申込票
- (b) 発表要旨 (A4 サイズ 1 枚)

をダウンロードし、研究会事務局宛に指導教員を通してメールで提出すること。

6 要旨の書き方について

申し込み時に送付する要旨は A4 サイズで 1 枚とし、タイトル、表者名、指導者名、所属校、目的、方法、結果、考察、参考文献を明記すること。結果には表やグラフを添付することもできる。提出された要旨は、そのまま講演要旨集としてまとめるため、誤りのないように記載すること。

7 口頭発表について

口頭発表の資料はパワーポイントで作成し、発表日の 3 日前までに担当教員から事務局にメールで提出する。発表と質疑応答はオンラインで実施するため、事前に発表場所とカメラ位置を確認し、発表当日までに準備する。

8 会場の設営について

原則として参加者の会場は自宅となりスマホやカメラ付の PC を使用して参加するため、自宅の視聴場所の背景まで撮影され、配信されることから、自宅の視聴場所は慎重に選択すること。学校が会場になる場合は必要な設備として、通信用 PC、web カメラ、通信用マイク、PC 投影用モニターかスクリーン、質疑応答や発表用のマイク、携帯用アンプ、口頭発表用 PC、モニター、その他接続用ケーブルなどが必要となる場合が考えられる。

9 オンライン発表会について

オンライン発表会では、常にカメラはONの状態にする。マイクはミュートにしておき、発表時や質疑応答時に座長から発言を求められたときにONにする。なお、本会の秩序や進行を故意に妨げた場合はネットワーク接続を遮断し、その後の接続を許可しない場合がある。